

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年9月9日
【会社名】	佐渡汽船株式会社
【英訳名】	Sado Steam Ship Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 尾渡 英生
【本店の所在の場所】	新潟県佐渡市両津湊353番地
【電話番号】	(0259) 27 - 5174
【事務連絡者氏名】	本社統括課長 本間 裕幸
【最寄りの連絡場所】	新潟市中央区万代島9番1号
【電話番号】	(025) 245 - 2366
【事務連絡者氏名】	総務課長 渡辺 大輔
【届出の対象とした募集有価証券の種類】	新株予約権証券
【届出の対象とした募集金額】	株主割当0円 (注) 会社法第277条に規定される新株予約権無償割当の方法により割り当てられるため、新株予約権の発行価額の総額は0円となります。 新株予約権の発行価額の総額に新株予約権の行使に際して払い込むべき金額の合計額を合算した金額 1,524,037,380円 (注) 本有価証券届出書に係る新株予約権無償割当は、本日付で当社が別途提出した有価証券届出書に係る当社普通株式の発行日より後の日を基準日とするものであることに鑑み、上記新株予約権の発行価額の総額に新株予約権の行使に際して払い込むべき金額の合計額を合算した金額は、2021年12月31日現在の当社の発行済株式総数(当社が保有する当社普通株式の数を除きます。)に本日付で当社が別途提出した有価証券届出書に係る当社普通株式33,805,000株を加算した合計株式数を基準として算出した新株予約権の数を前提とした見込額です。新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合には、新株予約権の発行価額の総額に新株予約権の行使に際して払い込むべき金額の合計額を合算した金額は減少します。
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2022年2月7日付で提出いたしました有価証券届出書（2022年2月21日付、2022年2月25日付、2022年3月15日付、2022年3月25日付、2022年3月28日付、2022年3月31日付、2022年4月26日付及び2022年6月22日付で提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正された事項を含みます。）について、2022年8月31日付で臨時報告書を提出したこと、また、2022年9月7日付で重要な設備計画の変更が生じたことに伴い、これを追加するため9月9日付で臨時報告書を提出したことに伴い、当該臨時報告書の内容を追加し、併せてこれに関連する事項を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第三部 追完情報

- 1 資本金の増減について
- 2 事業等のリスクについて
- 3 臨時報告書の提出について
- 4 重要な設備計画の変更について

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第三部【追完情報】

### 1 資本金の増減について

（訂正前）

下記「第四部 組込情報」の有価証券報告書（第160期事業年度）に記載された資本金について、当該有価証券報告書提出後（2022年3月28日提出）、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（2022年6月22日）までの間において、次のとおり資本金が増加しております。

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年3月31日	60,001,500	77,008,447	1,350,000	2,378,184	1,350,000	2,447,896

（注） 2022年3月31日に実施しました第三者割当による本普通株式、本A種種類株式及び本B種種類株式による増加であります。

< 後略 >

（訂正後）

下記「第四部 組込情報」の有価証券報告書（第160期事業年度）に記載された資本金について、当該有価証券報告書提出後（2022年3月28日提出）、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（2022年9月9日）までの間において、次のとおり資本金が増加しております。

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2022年9月9日	61,125,850	78,132,797	1,367,644	2,395,828	1,367,644	2,465,540

（注） 2022年3月31日に実施しました第三者割当による本普通株式、本A種種類株式及び本B種種類株式による増加並びに第10回新株予約権の行使による本普通株式による増加であります。

< 後略 >

### 2 事業等のリスクについて

（訂正前）

下記「第四部 組込情報」に記載の有価証券報告書（第160期事業年度）に記載された「事業等のリスク」について、当該有価証券報告書提出日以降、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（2022年6月22日）までの間において変更がありました。以下の内容は、当該「事業等のリスク」の変更を記載したものであり、当該変更箇所は下線で示しております。

なお、有価証券報告書には将来に関する事項が記載されていますが、当該事項は本有価証券届出書の訂正届出書提出日（2022年6月22日）現在においても変更の必要はなく、また新たに記載する将来に関する事項もないと判断しております。また、有価証券報告書に記載された将来に関する事項については、その達成を保証するものではありません。

< 後略 >

（訂正後）

下記「第四部 組込情報」に記載の有価証券報告書（第160期事業年度）に記載された「事業等のリスク」について、当該有価証券報告書提出日以降、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（2022年9月9日）までの間において変更がありました。以下の内容は、当該「事業等のリスク」の変更を記載したものであり、当該変更箇所は下線で示しております。

なお、有価証券報告書には将来に関する事項が記載されていますが、当該事項は本有価証券届出書の訂正届出書提出日（2022年9月9日）現在においても変更の必要はなく、また新たに記載する将来に関する事項もないと判断しております。また、有価証券報告書に記載された将来に関する事項については、その達成を保証するものではありません。

< 後略 >

### 3 臨時報告書の提出について

（訂正前）

下記「第四部 組込情報」に記載の有価証券報告書（第160期）の提出日（2022年3月28日）以降、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（2022年3月31日）までの間において、次の臨時報告書及び臨時報告書の訂正報告書を関東財務局長に提出しております。

< 中略 >

（2022年3月31日提出の臨時報告書の訂正報告書）

< 後略 >

（訂正後）

下記「第四部 組込情報」に記載の有価証券報告書（第160期）の提出日（2022年3月28日）以降、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（2022年9月9日）までの間において、次の臨時報告書及び臨時報告書の訂正報告書を関東財務局長に提出しております。

< 中略 >

（2022年3月31日提出の臨時報告書の訂正報告書）

< 中略 >

（2022年8月31日提出の臨時報告書）

#### 1 提出理由

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

#### 2 報告内容

##### (1) 当該事象の発生日

2022年8月22日（確定通知受領日）

##### (2) 当該事象の内容

当社は、2022年8月22日、国土交通省の「令和3年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（経営改善支援事業）」の額の確定について、北陸信越運輸局長より通知を受けました。

事業名 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（経営改善支援事業）

補助金確定額 74,441千円

##### (3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2022年12月期決算において、個別・連結ともに補助金収入73,701千円を特別利益に計上する予定です。

なお、補助金確定額のうち740千円につきましては、設備に対する補助金であることから、国庫補助金受贈益740千円を特別利益に、固定資産圧縮損740千円を特別損失にそれぞれ計上する予定ですが、結果として相殺されるため、2022年12月期決算において損益及び連結損益に与える影響はありません。

（2022年9月9日提出の臨時報告書）

#### 1 提出理由

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

#### 2 報告内容

##### (1) 当該事象の発生日

2022年9月7日（売買契約締結日）

##### (2) 当該事象の内容

当社は2022年6月27日開催の取締役会において、固定資産（船舶）取得に向けた方針決定について決議し、2022年9月7日、売買契約を締結いたしました。

固定資産取得の理由

佐渡島～本土間の安定継続運航のため、当該固定資産を取得することといたしました。

取得資産の内容

船種 旅客船兼自動車渡船

総トン数 2,486トン  
 竣工年月 2001年7月  
 取得価額 870,000千円

上記の取得価額その他、取得に係る諸費用及び船舶改造費として約200,000千円を見込んでおります。

資金調達方法

自己資金

購入先

宇和島運輸株式会社

同社と当社との間に、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として記載すべき事項はありません。

取得の日程

契約締結日 2022年9月7日

船舶引渡日 2022年9月9日

船舶引渡日後、船舶改造工事を行うため、本船舶は2022年3月より就航の予定であります。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該固定資産の取得による2022年12月期の損益及び連結損益に与える影響額については、現在、精査中であり、

(訂正前)

記載なし

(訂正後)

4 重要な設備計画の変更について

下記「第四部 組込情報」に記載の有価証券報告書（第160期事業年度）の「第一部 企業情報 第3 設備の状況 3 設備の新設、除却等の計画 (1) 重要な設備の新設」は、本有価証券届出書の訂正届出書の提出日現在（2022年9月9日）以下のとおりとなっております。

(1) 重要な設備の新設等

会社名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	投資予定金額	資金調達方法	着手及び完了予定年月		完成後の増加能力
						着手	完了	
当社	新潟県 佐渡市	海運	カーフェリー (注) 1	約 1,070,000 千円 (注) 2	自己資金	2022年9月 (注) 3	2023年3月 (注) 3	旅客定員610名 車両積載 1階：8トント ラック35台 又は乗用車 125台 2階：乗用車25台 (注) 4

(注) 1 同業他社より中古船舶の購入を行うものであります。

2 船舶取得価額870,000千円その他、取得に係る諸費用及び船舶改造費として約200,000千円を見込んでおります。

3 船舶引渡日後、船舶改造工事を予定しております。

4 旅客定員及び車両積載能力は、本船舶購入前のものであり、変更となる場合があります。